

# 東峰村通学合宿事業

実行委員会：東峰村通学合宿実行委員会

所在地：〒838-1701 朝倉郡東峰村大字宝珠山6425 0946-72-2301

## 1. 実行委員会構成委員

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
実行委員長	岩田 謙二	社会教育委員代表	副実行委員長	保坂 新一	東峰小学校長
副実行委員長	井上 和是	東峰村公民館長	実行委員	熊谷 義春	小学校PTA会長
実行委員	梶原 泰文	教育委員長	実行委員	野寄 和秀	中学校PTA会長
実行委員	柳瀬 眞一	教育委員	実行委員	梶原 大祐	青年団長
実行委員	高取 七絵	教育委員	実行委員	和田 博	レク協会代表
実行委員	坂本 進	教育委員	実行委員	室井 昭博	東峰村教育長
実行委員	小野 保徳	社会教育委員	事務局員	小林 純一	東峰村教育課長
実行委員	久保山 京一	東峰中学校長	事務局員	小野 豊徳	東峰教育委員会
実行委員	和田 輝子	社会教育委員	事務局員	和田 勲	東峰教育委員会
実行委員	金丸 伸一郎	社会教育委員	事務局員	阿波 秀樹	地域活動指導員
実行委員	長澤 貞義	社会教育委員	事務局員	池田 恵梨奈	地域活動指導員
実行委員	井上 伍郎	社会教育委員			

## 2. 事業の概要

東峰村立東峰小学校児童4年生～6年生までの48人を対象に、6泊7日の通学合宿を実施した。

通学合宿では、日常の家庭生活とは切り離された環境で、異年齢での共同生活や学習活動を行い、生活習慣や学習習慣を定着させ、人間関係形成能力や規範意識と学ぶ意欲を高めます。また、通学合宿中の学校では、東峰小学校の授業として、学習体験や地域ふれあい体験、集団遊び体験などが行われます。基本的な生活習慣を身に付けたり、体験学習を通して自主性・自発性・協調性を培ったり、心豊かにたくましく生きる力を育てることを目指しています。

## 3. 事業の展開・様子

### (1) 社会教育委員会（4月28日）

通学合宿事業の実施に向けた事前協議は、社会教育委員会を開催し検討した。

### (2) 通学合宿実行委員会（5月6日）

通学合宿事業要項、活動日程及び内容、指導の役割と組織、事業予算等について、実行委員会を開催し検討を行った。

### (3) 通学合宿事前合同説明会（5月13日）

参加児童及び保護者を対象に通学合宿の日程や活動内容、食事、スタッフ体制、準備する物等について説明会を開催した。保護者には1日2名の食事指導ボランティアをお願いし、理解と協力をお願いした。

(4) 通学合宿実施

時 期	参加児童数	実 施 内 容
5月21日	48	開宿式、班のめあて、役割分担、夕食準備、予習・復習
5月22日	48	ボランティア体験、体験活動、食事準備、掃除、洗濯
5月23日	48	通学、夕食準備、予習・復習、体験活動、掃除、洗濯
5月24日	48	通学、夕食準備、予習・復習、体験活動、掃除、洗濯
5月25日	48	通学、夕食準備、予習・復習、体験活動、掃除、洗濯
5月26日	48	通学、夕食準備、予習・復習、体験活動、掃除、洗濯
5月27日	48	通学、夕食準備、掃除、体験活動報告会、閉宿式



■調理実習-いわしの手開き



■班活動-体験活動報告会準備



■地域伝統文化体験-和太鼓教室（5年生）



■小石原焼-陶芸体験（4・5・6年生）



■地域食文化体験-味噌づくり体験



■押し花ハガキづくり（家族への手紙）



■ ボランティア活動—シャクナゲ花摘み



■ 班別活動—班のめあてを決める



■ 調理実習—レシピづくり



■ 掃除の様子—班活動



■ 集いの様子—朝のつどい



■ スクールバス通学の様子



■ 夕食の様子—班ごとにテーブルを囲む



■ 宿泊室—就寝前の様子

#### 4. 事業の効果・成果

○長期宿泊体験活動を実施することにより、子どもたちの基本的な生活習慣を確立する第一歩にすることができた。また、小学生集団宿泊事業を地域の人や保護者、運営委員など連携して、子どもたちの体験活動を支えることができた。多くの人がこの事業に関わることで、事業についての理解と協力が広がった。

○小学4・5・6年生の全児童48名が参加し、1週間親元を離れての通学合宿でした。

○1日目の開宿式の後、班の「めあて」と自分の「めあて」を決め、毎日夜の班会議で1日の活動を振り返り、そして最終日の活動報告会で、班の発表の後、参加者全員が自分の「めあて」が達成できたかどうかを発表するとうスタイルでした。

○通学合宿2日目の日曜日は、午前中に小石原の原地区の熊谷秀峰苑に行って、シャクナゲ花摘みボランティアとビニールハウスで花摘み体験をしました。ハウスで摘んだ花は、押し花ハガキにして参加児童の家族に郵便で届けられました。

○地域指導者の協力で“みそづくり”を体験し、貴重な地域の食文化体験になりました。

○通学合宿中の学校では、授業として4年生の和太鼓体験や5年生の陶芸体験など様々な体験活動が行われ、学校と連携した通学合宿を行うことができました。

○今回、東峰テレビ（ケーブルテレビ）が密着取材しましたので、映像でも通学合宿の様子を3回の特集として村民の皆さんにお伝えできた。

○通学合宿の目的は、共同生活体験や学習活動行い、人間関係形成能力や規範意識を学ぶ意欲を高めることです。通学合宿中の活動は、1班8名の班活動を基本としながら、掃除、洗たく、料理、勉強、体験活動が規則正しい生活の中で行われました。

○子どもたちには、何でも自分たちで行ったこの経験に自信を持って、これからの生活や人生につなげてほしいと願っています。

#### 5. 感想（参加者・担当者）

○参加者

- ・身近にあるみそがこんなに大変な作業を通してできているのにおどろきました。
- ・新しい友だちもできたし、友だちとももっと仲良しになれました。
- ・食事の準備や片付け、洗たくなど、家に帰っても続けたいと思います。
- ・いつもはお母さんやおばあちゃんがやっている家の仕事の大変さが少しわかった気がします。
- ・はじめての参加で心配だったし、つらいこともあったけど、楽しいこともたくさんありました。

○指導者

・子どもたちの活動のお手伝いができ、生き生きとした子どもたちの表情に元気づけられ、楽しく調理指導することができました。

・異学年の子どもたちが班で協力しながら活動する姿は、現代社会では重要な体験学習だと感じました。

・宿泊指導者として参加しましたが、子どもたちの活動を支える大人の役割の大切さを実感しました。子どもたちのがんばりと事務局の努力に感謝します。

・食事指導ボランティアとして参加しましたが、地域の食材を生かしながら栄養のバランスや学校給食の献立との調整をしていることに驚きました。また、子どもたちの調理も、子どもにさせる内容が事前に決まっているのは良かったと思いました。

## 6. 今後の課題・改善方策

○実施場所の喜楽来館は、調理室、風呂、学習室、体育館を備えた約50名の参加者が一度に生活できる施設であるので、通学合宿には恵まれた施設である。しかし、使用料が高いので今後も継続して予算確保ができるかが課題である。

○児童の通学にはスクールバスの運行が不可欠であるため、今後の利用について検討する必要がある。

○学校との連携を図り、通学合宿中の学校授業で地域ふれあい体験や集団遊び、キャリア体験などを実施することで、より効果があると考ええる。

○保護者との連携協力についても、食事指導ボランティアとして参画することで、事業の様子を直接伝えることができると考える。

## 平成23年度東峰村小学生集団宿泊事業 通学合宿 要項

### 1. 事業内容について

#### (1) 事業の目的について

通学合宿の目的は、夢や希望、具体的な目標を持った子どもを育てることです。通学合宿では、日常の家庭生活とは切り離された環境で、異年齢での共同生活や学習活動を行い、生活習慣や学習習慣を定着させ、人間関係形成能力や規範意識と学ぶ意欲を高めます。

通学合宿中の学校では、東峰小学校の授業として、学習体験や地域ふれあい体験、集団遊び体験などが行われます。

基本的な生活習慣を身に付けたり、体験学習を通して自主性・自発性・協調性を培ったり、心豊かにたくましく生きる力を育てることを目指しています。

#### 小学生集団宿泊事業の目的

- ① 異学年での共同生活や学習活動を行い、人と関わる力や集団生活のマナー、基本的な生活習慣の育成を図る。
- ② 児童に将来の夢や目標を持たせ、学ぶ意欲を高めるとともに、日常的に学習する学習習慣の育成を図る。
- ③ 学校教育への住民や保護者、学生等の関わりを強め、学校教育活動を支援していく仕組みの構築を図る。
- ④ 小学生集団宿泊事業の「東峰村通学合宿モデル」を推進する。

#### (2) 主 催

東峰村通学合宿実行委員会・東峰小学校・東峰村教育委員会

#### (3) 実施期間

平成23年 5月21日（土）～ 5月27日（金）6泊7日

#### (4) 実施場所

喜楽来館 東峰村大字小石原鼓2846 電話74-2012

#### (5) 参加者（5月6日現在）

東峰小学校の4年生～6年生の児童

学年	性別	合 計	総 計
4 年	男	10	17
	女	7	
5 年	男	8	19
	女	11	
6 年	男	5	12
	女	7	
合 計	男	23	48
	女	25	

(6) 通学手段

スクールバスで学校まで (約15分)

起床時間 午前6時20分

登校時間 喜楽来館8時発

下校時間 東峰小学校の下校時間

(7) 主な生活内容

調理、食事 (朝夕)、洗濯、入浴、学習の時間 (予習・復習)、自主学习、野外体験、宿泊 (児童及び指導者)、レクリエーション活動

(8) 合宿中の活動内容

○宿泊施設での活動

①レクリエーション ②ボランティア活動 ③生活体験活動

④工作活動 ⑤スポーツ活動 ⑥調理実習 ⑦体験発表 ⑧ふれあい活動

○学校での活動 (集団遊び体験、地域ふれあい体験、学習体験など)

(9) 小学生児童の持参品

洗面具、タオル、学習用品、運動服、着替え、寝間着、雨具、上履き、  
体育館用靴、エプロン、洗濯ネット (下着用)、個人に必要な物 (薬など)  
バスタオル、ゲーム機、ゲームカードやマンガ本の持ち込みは禁止

(10) 事業費

施設使用料、食材費、傷害保険料、レンタル料など事業に係る経費は、東峰村教育委員会が予算化し準備する。

1人当たり2,000円の参加費を事業経費の一部に充てる。

(11) 指導者について

宿泊指導・・・実行委員2名、事務局2名 (内女性1名～2名) 18:00～

食事指導・・・食事指導者 (協力者1日4名) 15:30～夕食

食事指導ボランティア・・・参加児童保護者 (1日2名) 16:00～夕食片付け

食事スタッフ・・・社会教育指導員 (1日1人) 15:30～夕食

活動指導・・・ボランティア指導者

みそづくり：田舎いい仲東峰、ドッジビー：体育指導委員

押し花はがき：仲道洋子さん、調理実習：田舎いい仲東峰

型紙飛行機：東峰村レクリエーション協会

ボランティア体験：熊谷シゲコさん (シャクナゲ園)

○中学生 (ヤングサポーター) の参加者募集について (体験活動・交流)

中学1・2年生の希望者に参加者募集チラシ配布 (22日の活動)

(12) 記録撮影

事務局 (デジタルカメラ)、東峰テレビ (ビデオカメラ)

## 2. 活動内容の詳細について

### (1) 班活動及び班会議について

- ①各班の係りを決める。(班長、は教育委員会で事前に決定する)
- ②各班の目標(めあて)を立てる。(各班模造紙に書く)
- ③毎日就寝前に班会議を行い1日の振り返りを行う。(班日誌の記入)
- ④通学合宿中の体験活動は、班単位での活動を基本とする。

### (2) 登下校については、参加児童全員で行う。

### (3) 食事準備と片付け、掃除について

食事の準備と片付け、掃除は、担当班の全員で行う。2班。

※食事担当班は学習時間を考え、準備と片付けの班を分ける。

### (4) 入浴について

班毎に前半 20:00～20:30、後半 20:30～21:00 に入浴する。

空き時間は学習、洗濯、班会議を行う。

### (5) 洗濯について

4台の全自動洗濯機を用意し、女児2台、男児2台を専用として使う。

22日午後、洗濯機使い方指導を行う。

洗濯・取り込みは、下校後すぐと入浴時間に行うことを基本とする。

### (6) 朝、夕べの集い

朝の集い : 6:30 (点呼、ラジオ体操、連絡、健康観察)

夕べの集い : 18:00 (点呼、連絡、健康観察)

### (7) 体験活動報告会

報告会で、各班の決めた目標(めあて)の達成状況を代表者が発表し、個人で決めためあてについて、達成状況をそれぞれ個人ごとに発表する。

### (8) アンケート調査

小学生集団宿泊事業通学合宿の評価資料として、実施前と実施後に参加児童を対象としたアンケート調査を行う。



## 宿泊指導者・食事指導者の役割

### 1. 宿泊指導者

集合時間：18:00 夕べの集いに必ず間に合うように集合。

宿泊指導者の紹介あり。自己紹介をお願いします。

- ①前日からの引継事項の確認、健康チェック表の確認、当日スケジュールの確認
  - ②夕食のかたづけ・・・片付けの担当班の指導と手伝い。
  - ③翌日の朝食準備・・・食事指導者と打ち合わせを行う。
  - ④夜の活動指導・・・必要に応じて班活動の指導助言を行う。
  - ⑤入浴指導・・・20:00～21:00まで入浴指導を行う。
  - ⑥班日誌の確認・・・21:20までに班日誌を持ってくるので確認
  - ⑦就寝指導・・・21:30就寝です。就寝準備と時間を守るよう指導
  - ⑧起床指導・・・6:20起床指導と布団整理、洗面の指導
  - ⑨朝食準備・・・翌日の朝食準備（宿泊指導者の役割です）
- ※登校時は8:00発でスクールバス登校します。児童登校確認後、解散。  
※宿泊スタッフは、通学合宿事務局から必ず2名は宿泊します。

### 2. 食事指導について

#### ①食事指導ボランティア

集合時間：16:00 必ず夕食準備に間に合うよう集合する。

食事メニューの確認・・・事前に当日の献立を確認する。

持参品・・・包丁とエプロンを持参する。

食事準備の手順・・・食事指導者に手順を聞いて調理する。

食後の片付け・・・片付けの担当班の指導と手伝い。

朝食下準備・・・翌日朝食の下準備と宿泊指導者への引継ぎ。

※食事指導ボランティアの夕食は準備します。片付け終了後解散。

#### ②食事指導者

仲道洋子さん、坂本康子さん、岩橋綾子さん、和田宣江さん、太田久美子さん。

#### ③食事スタッフ

社会教育指導員（阿波祐里子、岩下みどり）が毎日1名担当します。

### 3. 通学合宿中の時間の流れ

- 15:30 食事スタッフ・食事指導者集合
- 16:00～17:00 食事指導ボランティア・食事スタッフ・食事指導者で食事準備
- 17:00～18:00 担当班児童と食事準備／掃除／洗濯
- 18:00～ 夕べの集い ⇒ 夕食
- 19:00～20:00 夜の活動
- 20:00～21:00 入浴／学習／洗濯
- 21:00～ 就寝準備／班日誌提出（21:20まで）
- 21:30 就寝

緊急連絡	119 又は 東出張所 74-2063
救急病院	東峰村立診療所 (東峰村小石原 Tel 74-2201)
	森山内科 (朝倉市杷木 Tel 62-0111)
	和田外科 (朝倉市杷木 Tel 62-0676)
	朝倉医師会病院 (朝倉市来春 Tel 23-0077)
	日田中央病院 (日田市淡窓 Tel 0973-23-3181)
	済生会日田病院 (日田市清水町 Tel 0973-24-1100)